

# フィリップ・ヘレヴェッツへ(指揮) コレギウム・ヴォカール&シャンゼリゼ管弦楽団

Cond. Philippe Herreweghe Collegium Vocale & Orchestre des Champs-Elysees

指揮:フィリップ・ヘレヴェッツへ

Cond. Philippe Herreweghe

ソリスト:スンハエ・イム(ソプラノ)

Sunhae Im, soprano

クリスティナ・ハマルストレム(アルト)

Cristina Hammarstrom, alto

ベンジャミン・ヒューレット(テノール)

Benjamin Hulett, tenor

ヨハネス・ヴァイサー(バリトン)

Johannes Weisser, baritone

合唱団:コレギウム・ヴォカール

Chorus: Collegium Vocale

管弦楽:シャンゼリゼ管弦楽団

Orchestra: Orchestre des Champs-Elysees

モーツァルト:

Mozart;

交響曲 第38番 ニ長調 K.504「プラハ」

Symphony No.38 in D major K.504 "Prague"

「レクイエム」ニ短調 K.626

Requiem in d minor K.626

## 哀しくも美しいモーツァルトの「レクイエム」

長く来日が待たれた、

ヘレヴェッツへ率いるコレギウム・ヴォカールとシャンゼリゼ管弦楽団による至上のモーツァルト



シャンゼリゼ管弦楽団



コレギウム・ヴォカール

2013.6.10(月) 19:00開演(18:20開場)  
東京文化会館 大ホール

Monday, June 10, 2013 at 19:00 Tokyo Bunka Kaikan

全指定席 S¥13,000 A¥10,000 B¥7,000 C¥4,000

学生席¥3,000(税込)(学生席はカメラータ・トウキョウのみ取扱い)

◎お問合せ・電話予約:カメラータ・トウキョウ 03-5790-5560

<http://www.camerata.co.jp>

◎チケットお取扱い:

チケットぴあ 0570-02-9999 <http://t.pia.jp> [Pコード:188-226]

イープラス <http://eplus.jp>

ローソンチケット <http://l-tike.com/>

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

主催:カメラータ・トウキョウ

協力:日本モーツァルト協会



# Cond. Philippe Herreweghe

## Collegium Vocale & Orchestre des Champs-Élysées

モーツァルトが死の床で書き続けた不朽の名作「レクイエム」は何度聴いても美しく、聴く者を天上の世界へと誘う魅力にあふれています。

モーツァルトの絶筆となった作品を、ヘレヴェッヘ率いるオーケストラと合唱による最高の演奏でお楽しみください。

### フィリップ・ヘレヴェッヘ (指揮)

Cond. Philippe Herreweghe

1947年ベルギーのアントワープに生まれ、少年聖歌隊で歌う。大学では医学と精神医学を専攻するが、古楽の魅力に取りつかれ、アントワープ音楽院でオルガンとチェンバロ、合唱を学び、70年に合唱団「コレギウム・ヴォカール」を創立。77年にはフランス黄金期の音楽を演奏するためパリで「ラ・シャペル・ロワイヤル」を、91年に《シャンゼリゼ管弦楽団》ほか、レパートリーを広げていく過程で様々な種類のアンサンブルを設立。また《オランダ室内合唱団》《リエージュ交響合唱団》の指揮者、《スコットランド室内管弦楽団》の芸術監督も歴任。リヨン管弦楽団、コンサートヘボウ管弦楽団、そしてウィーン・フィル、ベルリン・フィル等にも客演。97年よりロイヤル・フランダース・フィル、82年からは南フランス「サント古楽祭」の音楽監督を務める。97年よりルーヴアン大学教授を務め、同大学より名誉博士号を授与されている。



### コレギウム・ヴォカール・アントワープ (合唱団)

Collegium Vocale Gent, chorus



古楽がまだそれほど注目を集めていなかった1970年、フィリップ・ヘレヴェッヘにより創立。創立してすぐレオンハルト、コープマン、アーノンクールといったトップ・アーティストたちに注目され、コンサートやレコーディングで共演、優れた演奏で頭角を現わす。ラッスス、スウェーリンクといった作曲家の音楽を甦らせる事にも貢献し、またドイツ・バロックの分野、特にバッハ以前の音楽にも並々ならぬ情熱を傾ける。バッハの作品も受難曲やカンタータ、ミサ曲口短調、クリスマス・オラトリオなどを継続的に演奏、録音も行っている。

古楽専門のアンサンブルではなく、レパートリーはルネサンスから現代作品まで大変に幅広い。また、様々なコラボレーションが音楽性の幅を広げるというヘレヴェッヘの考えから、定期的にS.クイケン、P.v.ネーヴェル、R.ヤコブスらを指揮者に迎え、またラ・プティット・バンド、コンサートヘボウ管弦楽団、ウィーン・フィル等とも共演している。レコーディングも精力的に行っており、ハルモニア・ムンディ・フランス、ヴァージン・クラシックスにすでに65枚に及ぶCDをリリース、最高級の賛辞を得ている。

### シャンゼリゼ管弦楽団 (管弦楽)

Orchestre Des Champs-Élysées



シャンゼリゼ管弦楽団は、1991年に設立。18世紀半ばから20世紀初期の作品をレパートリーとし、作品が書かれた当時の楽器またはそのコピーを使用して演奏している。パリのシャンゼリゼ劇場、ブリュッセルのボーザール劇場を本拠地とし、これまでウィーン・ムジークフェライン、アムステルダム・コンサートヘボウ、ロンドンのバービカンセンターをはじめ、世界各地の主要なコンサートホールで演奏している。フィリップ・ヘレヴェッヘが芸術監督、常任指揮者を努めている。その他ダニエル・ハーディング、クリスティアン・ツァハリアス、ルイ・ラングレ、ハンス・ホルガー、クリストフ・コワン、ルネ・ヤコブス等が客演指揮している。

他の追従を許さない音楽へのアプローチやその情熱あふれる演奏は各地で絶賛を博しており、彼らのCD、モーツァルトのレクイエム、ハ短調ミサ、ベートーヴェンの荘厳ミサ曲、第九、ブラームスのドイツ・レクイエム、シューマンの交響曲、ベルリオーズのオラトリオ「キリストの幼時」、「夏の夜」、フォーレのレクイエム、ブルックナーの交響曲、マーラーの「子供の魔法の角笛」等、いずれも高い評価を得ている。



スンハエ・イム  
(ソプラノ)  
Sunhae Im, soprano



クリスティーナ・ハマルストロム  
(アルト)  
Cristina Hammarstrom, alto



ベンジャミン・ヒューレット  
(テノール)  
Benjamin Hulett, tenor



ヨハネス・ヴァイサー  
(バリトン)  
Johannes Weisser, baritone